

2009年3月期第2四半期決算説明会

2008年11月6日

Nabtesco Corporation

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

- I. 2009年3月期第2四半期連結業績概況
- II. 2009年3月期連結業績見通し
- III. セグメント別業績概況・見通し
- IV. 設備投資額・研究開発費・減価償却費
- V. トピックス
- VI. BS概況
- VII. 目標とする経営指標

連結損益概況 (前期比)



(4月～9月累計期間)

(単位:億円)	2007/9	2008/9 (当初予想)	2008/9	増減	率
売上高	840	(874)	868	27	3.3%
営業利益	96	(81)	82	-14	-15.0%
営業外損益	6		7	1	—
経常利益	102	(81)	89	-13	-12.9%
特別損益	-5		-5	—	—
税引前利益	96		83	-13	-13.7%
中間純利益	58	(48)	48	-10	-17.6%
一株当たり 中間純利益	46.37円	(37.78円)	38.19円	-8.18円	

一株当たり 中間配当金	8円	9円	9円	1円
----------------	----	----	----	----

増減要因

■ 売上高

エマージングマーケットを中心とした建設機械需要の伸長、非自動車向け産業ロボット拡大等により増収。

■ 営業利益

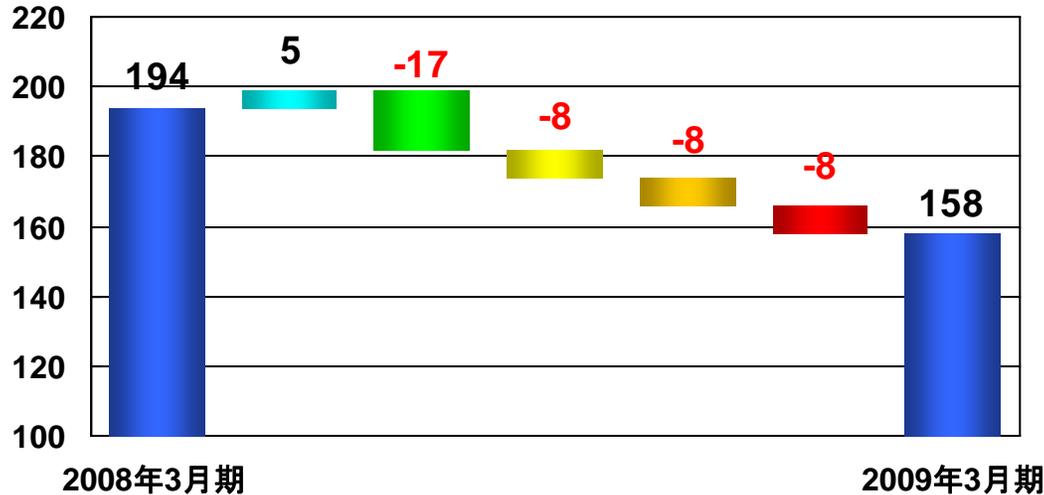
売上の変動による	11億円
為替影響	-5億円
原材料費の値上がり	-7億円
販売価格影響	1億円
品質問題対応	-8億円
棚卸資産評価損	-1億円
販管費の増	-1億円
減価償却費の増等	-4億円
計	-14億円

(単位:億円)	2008/3	2009/3 (当初予想)	2009/3	増減	率
売上高	1,742	(1,780)	1,740	-2	-0.1%
営業利益	194	(184)	158	-36	-18.7%
経常利益	200	(184)	166	-34	-17.3%
当期純利益	110	(113)	95	-15	-13.8%

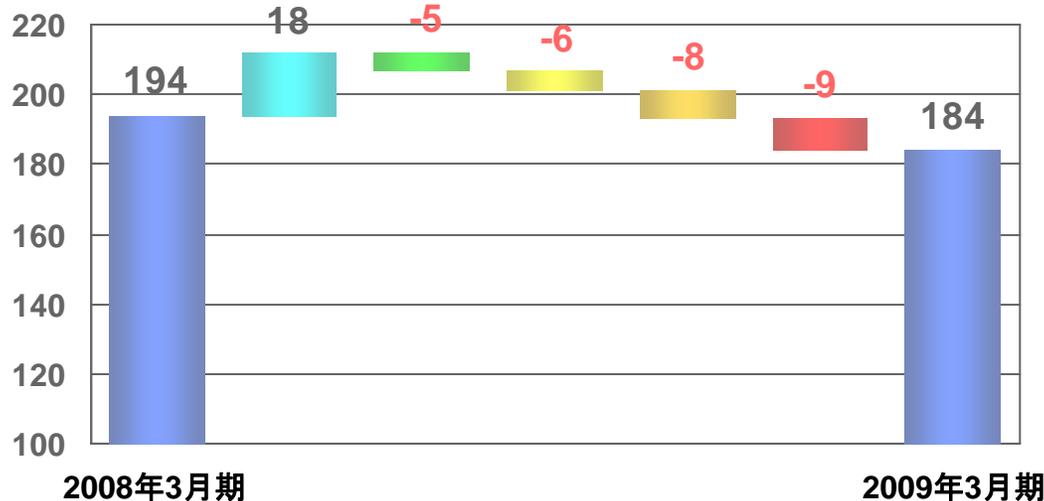
一株当たり 配当金	16円	(18円)	18円(予)	2円
--------------	-----	-------	--------	----

連結損益見通し (営業利益変動分析)

今回予想による営業利益変動分析



当初予想による営業利益変動分析

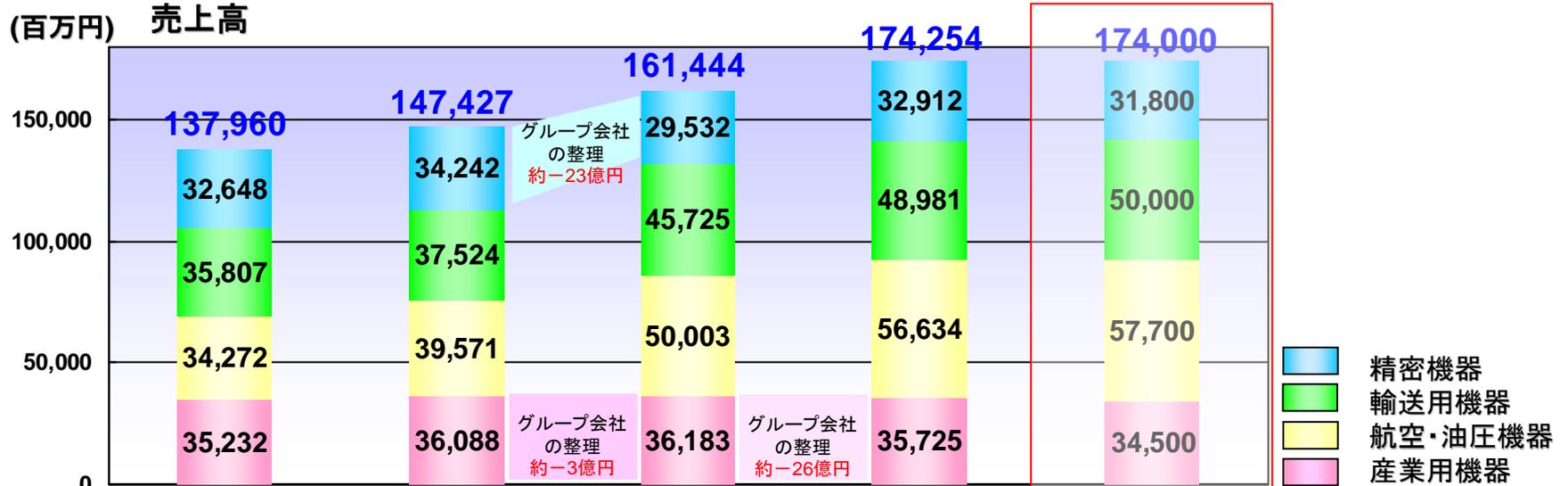


当初予想との差異

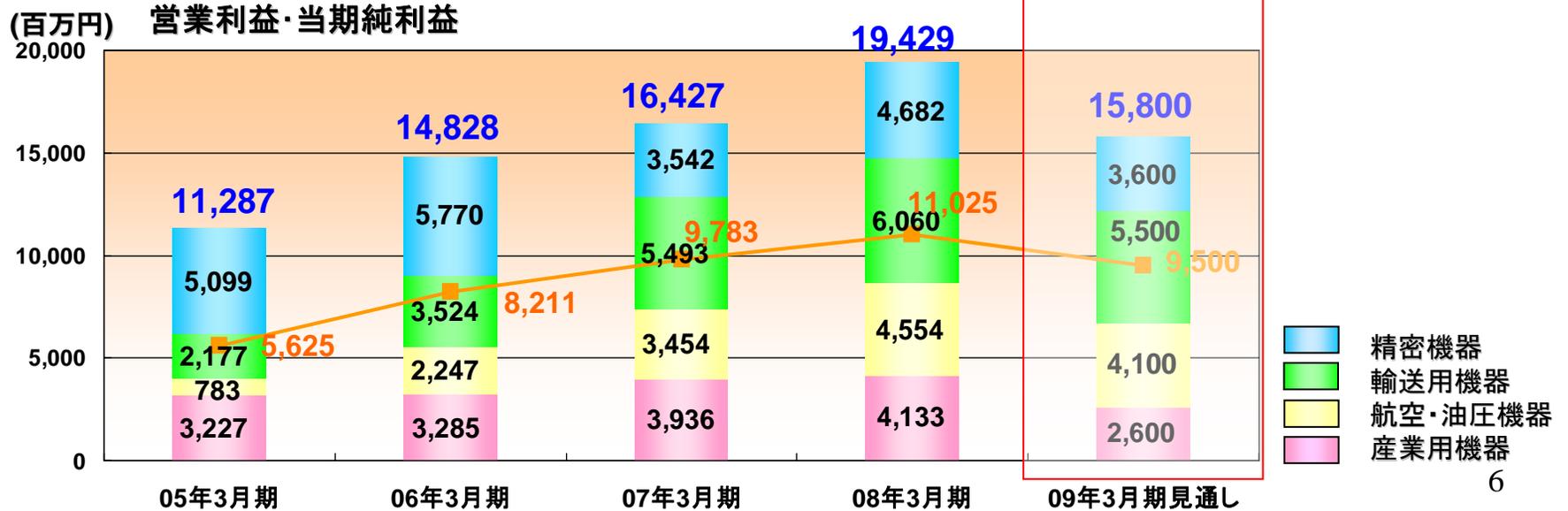
- 売上高影響
世界経済減退によるリスク
- コストリダクション・生産性向上
原材料費の値上がり・販売価格影響
品質保証費用の増加
コストリダクションの未達成
- 為替影響
当初前提を超える円高リスク
- 減価償却費の増加
予定通り
- 販管費の増加
ほぼ予定通り

事業セグメント別 売上高・営業利益推移 **Nabtesco**

(百万円) 売上高

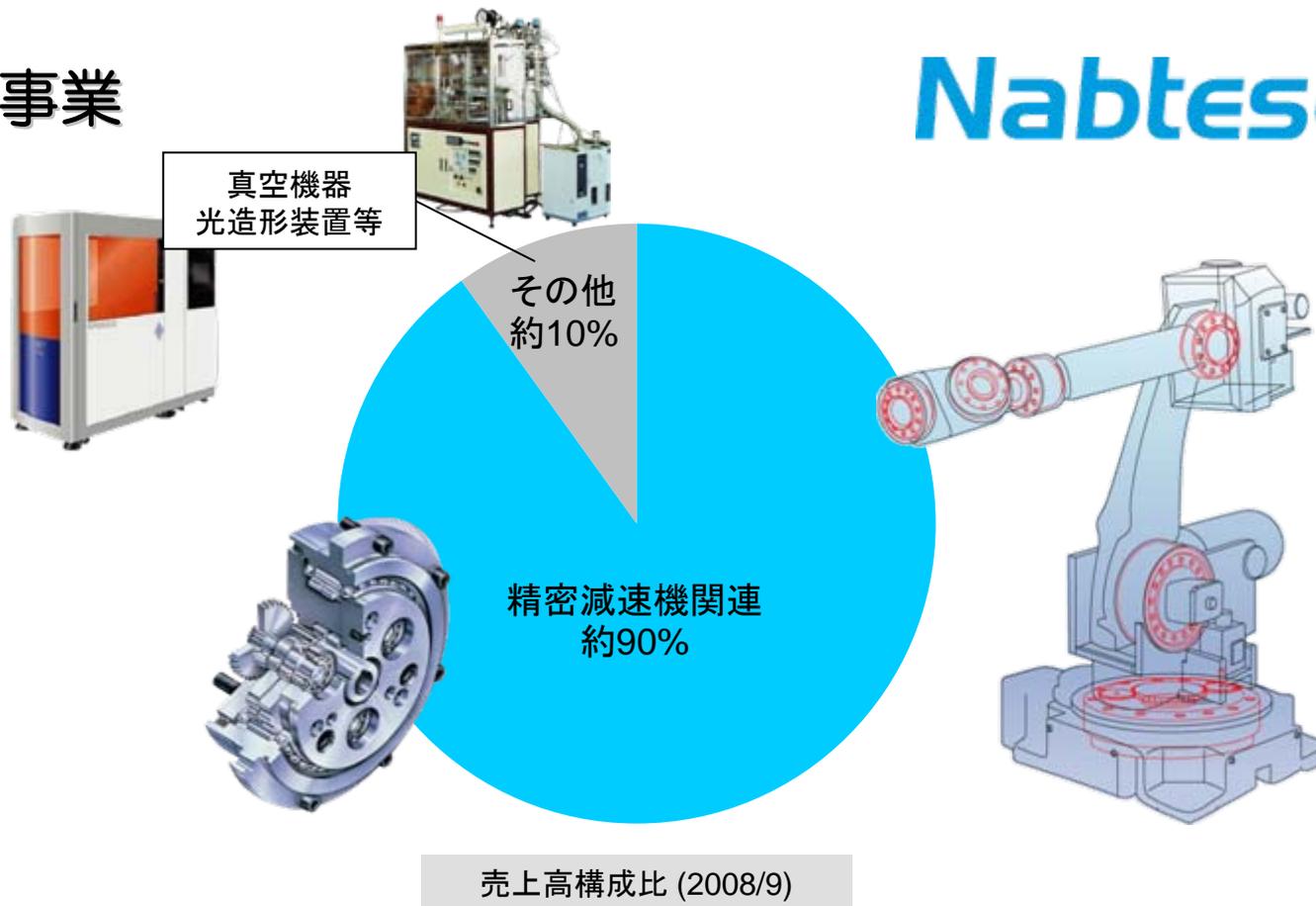


(百万円) 営業利益・当期純利益



精密機器事業

Nabtesco



主要製品と顧客 (敬称略)

● 精密減速機

産業用ロボット：ファナック・安川電機・KUKA (独)・ABB (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック・オークマ・森精機製作所

半導体製造装置：東京エレクトロン

第2四半期累計実績

(単位:百万円)	2007/9	2008/9 (当初予想)	2008/9	増減	率
売上高	15,460	(16,600)	16,390	930	6.0%
営業利益	2,429	(2,200)	2,081	-348	-14.3%
営業利益率	15.7%	(13.3%)	12.7%		

通期見通し

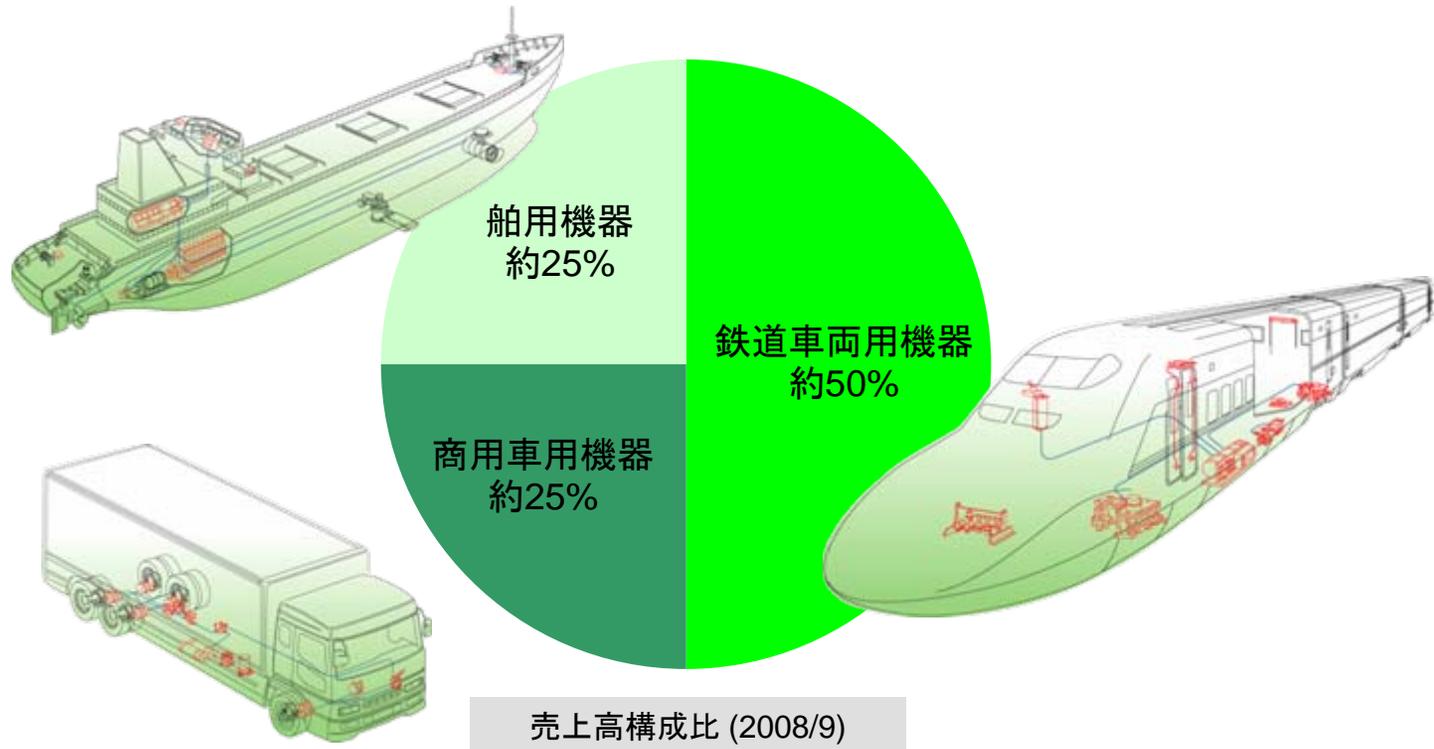
(単位:百万円)	2008/3	2009/3 (当初予想)	2009/3	増減	率
売上高	32,912	(34,000)	31,800	-1,112	-3.4%
営業利益	4,682	(4,700)	3,600	-1,082	-23.1%
営業利益率	14.2%	(13.8%)	11.3%		

Notes: 精密減速機

- 産業用ロボット: 自動車向けの減少を非自動車向けがカバーしてきたが、下期以降の不透明感が強まる。
- 工作機械: 顧客の受注残レベルが高く、当社納期とのタイムラグから第2四半期までは増収だが、下期以降減少の見通し。
- 半導体製造装置: 減少著しいが、絶対額が少ないため影響は軽微。
- 売上高減、原材料費の高騰、品質問題、販管費の増等により減収・減益の見通し。

Remarks: 品質問題

- 金額: 前第2四半期累計期間比約4.5億円増。通期では約1億円増であるが、当初予想以上。
- 内容: ロボット向け精密減速機が、特異な環境下で使用されたことによる不具合。
- 対策: 仕様確認の徹底
品質保証体制及び信頼性評価方法の見直し



主要製品と顧客 (敬称略)

● 鉄道車両用機器 ブレーキシステム ドア開閉装置

JR各社・民鉄各社・川崎重工業・日本車輛製造・中国新幹線向け・他

● 商用車用機器 エアブレーキ周辺機器

日野自動車・いすゞ自動車・三菱ふそうトラック・バス・日産ディーゼル工業

● 船用機器 ディーゼルエンジン遠隔制御装置

川崎重工業・三井造船・日立造船D&E・MAN Diesel (デンマーク)

輸送用機器事業

Nabtesco

第2四半期累計実績

(単位:百万円)	2007/9	2008/9 (当初予想)	2008/9	増減	率
売上高	23,957	(23,800)	24,326	369	1.5%
営業利益	2,770	(2,500)	2,350	-420	-15.2%
営業利益率	11.6%	(10.5%)	9.7%		

通期見通し

(単位:百万円)	2008/3	2009/3 (当初予想)	2009/3	増減	率
売上高	48,981	(48,500)	50,000	1,019	2.1%
営業利益	6,060	(5,900)	5,500	-560	-9.2%
営業利益率	12.4%	(12.2%)	11.0%		

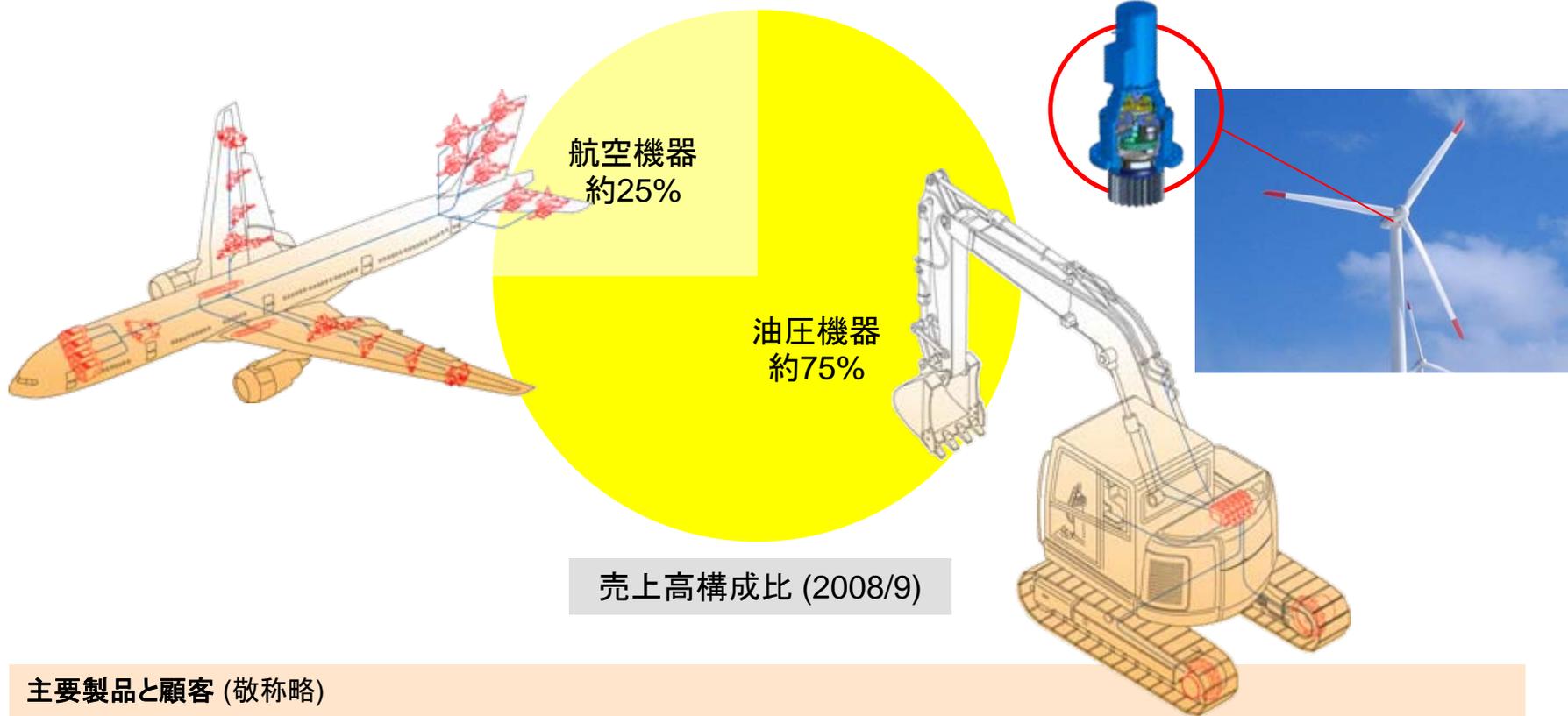
Notes:

- 鉄道車両用機器: 今期は納入の端境期にあたるため減収。品質問題および棚卸資産の評価損のため減益。
- 商用車用機器: 国内需要の減を完成車メーカーの輸出増によりカバー、売上横ばいも、原材料費高騰の価格転嫁タイムラグにより減益。
- 船用機器: 造船需要が堅調、増収・増益。
- 減価償却費・販管費の増、鉄道車両用機器の品質問題、商用車用機器の原材料影響等により減益。

Remarks:

鉄道車両用機器品質問題

- 金額: 前第2四半期累計期間比約5億円増。通期でも当初予想より約2億円多くなる見通し。
- 内容: 人的被害等はないがコンプレッサーを中心に不具合が多発。
- 対策: これまで事後に個別対応してきたが、可能性のある機器を全て新設計品に交換する。



主要製品と顧客 (敬称略)

●油圧機器

走行モーター: コマツ・コベルコ建機・住友建機・タダノ・Doosan (韓)・Liu Gong (中)

風力発電機用駆動装置: 三菱重工業・他

●航空機器 フライトコントロールアクチュエーションシステム

ボーイング・川崎重工業・IHI・三菱重工業・防衛省・シンガポール航空

第2四半期累計実績

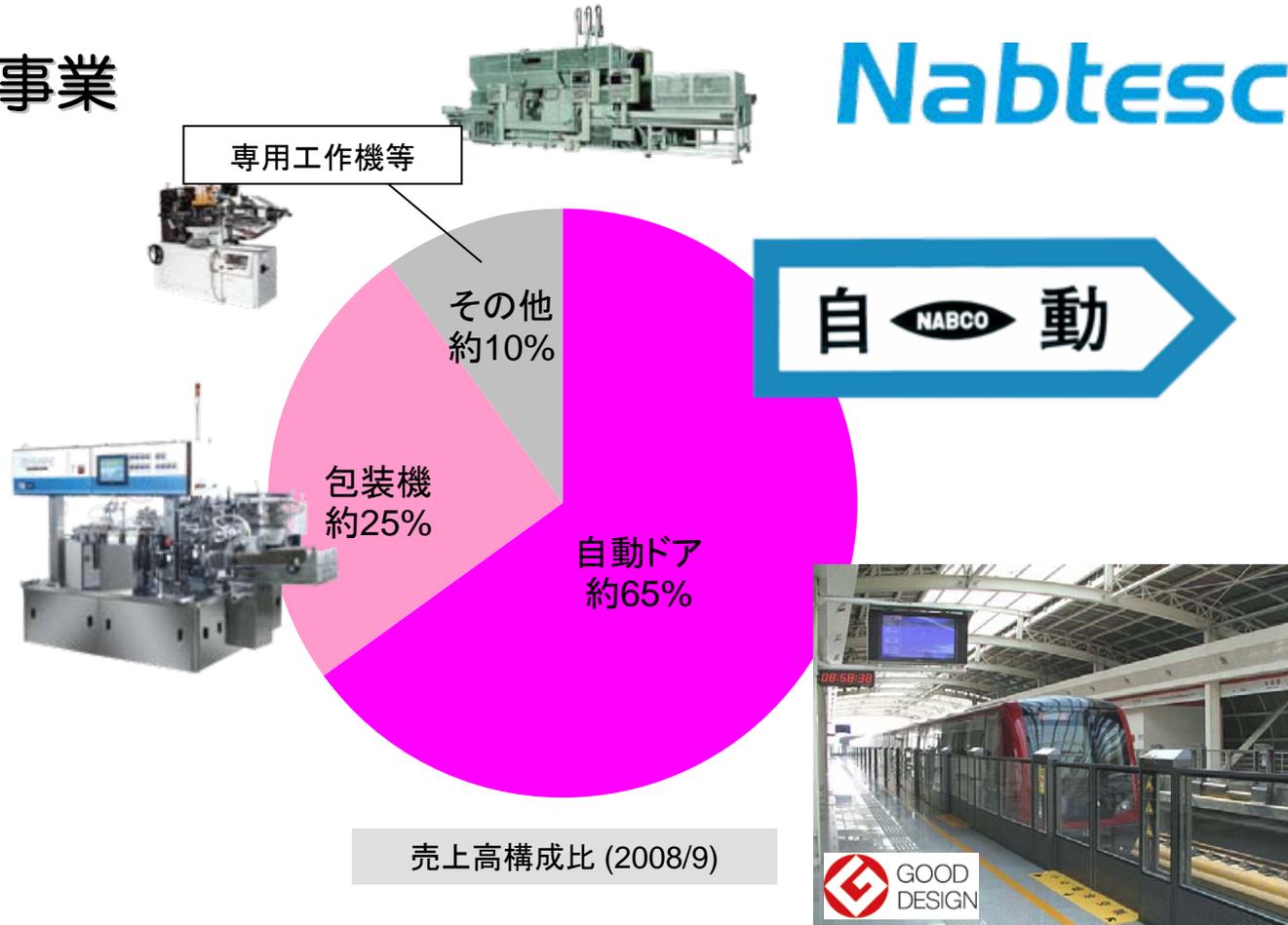
(単位:百万円)	2007/9	2008/9 (当初予想)	2008/9	増減	率
売上高	27,912	(29,300)	30,258	2,346	8.4%
営業利益	2,512	(2,000)	2,797	285	11.4%
営業利益率	9.0%	(6.8%)	9.2%		

Notes:

- 油圧機器: 建設機械向けは好調を維持してきたが、下期に減速。風力発電機用駆動装置は当初計画を上回る伸長。
- 航空機器: 防衛需要の低下により減収。ボーイング社スト、B787開発遅延による影響は軽微。
- 原材料高騰の影響、為替影響、減価償却費の増により通期減益の見通し。

通期見通し

(単位:百万円)	2008/3	2009/3 (当初予想)	2009/3	増減	率
売上高	56,634	(59,000)	57,700	1,066	1.9%
営業利益	4,554	(4,100)	4,100	-454	-10.0%
営業利益率	8.0%	(6.9%)	7.1%		



主要製品と顧客 (敬称略)

●自動ドア

各種建物用自動ドア: 大手ゼネコン各社・トステム・他

プラットフォームドア: MTR (香港)・CTCI (台湾)・ゆりかもめ・横浜市交通局

●包装機

大塚食品・丸大食品・江崎グリコ・Latinpack (仏)・Dole (米)・ニッサン石鹼 (洗剤詰替用)

第2四半期累計実績

(単位:百万円)	2007/9	2008/9 (当初予想)	2008/9	増減	率
売上高	16,726	(17,700)	15,839	-887	-5.3%
営業利益	1,936	(1,400)	972	-964	-49.8%
営業利益率	11.6%	(7.9%)	6.1%		

通期見通し

(単位:百万円)	2008/3	2009/3 (当初予想)	2009/3	増減	率
売上高	35,725	(36,500)	34,500	-1,225	-3.4%
営業利益	4,133	(3,700)	2,600	-1,533	-37.1%
営業利益率	11.6%	(10.1%)	7.5%		

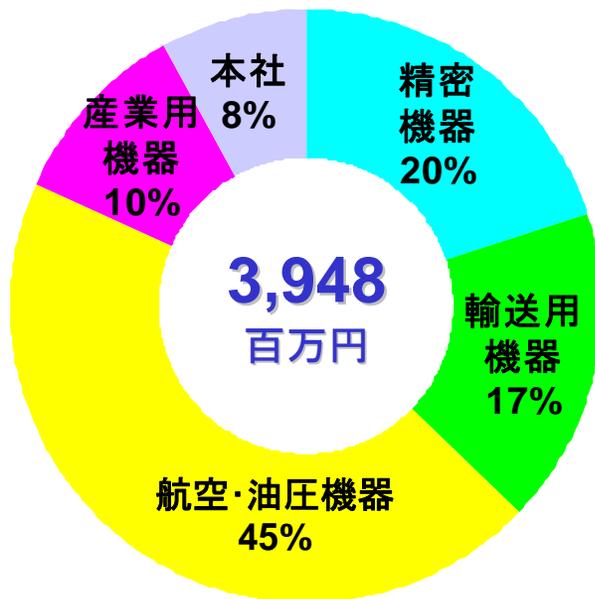
Notes:

- 自動ドア関連: 建築需要後退の影響を受け、減収。
- 包装機: 国内食品メーカーの設備更新時期にあたり増収。海外市場開拓のための販管費の増加により減益。
- 専用工作機: 自動車業界の設備投資減退により減収・減益。
- 自動ドア関連の売上の減、製品構成差、コストリダクションの遅れ、販管費の増等により減益。

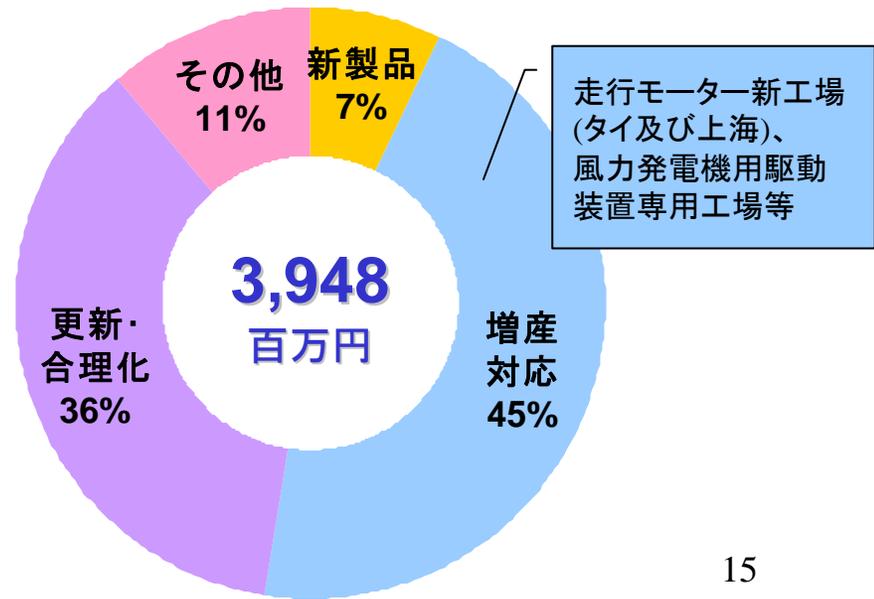
(百万円)	2007/9	2008/9	2009/3 見通し
設備投資額	2,125	3,948	12,600
研究開発費	1,990	2,081	4,200
減価償却費	2,422	2,647	6,300

2008年9月時点での計画値。
付加価値向上のための自動化投資は継続。
増産投資は適宜見直す。

セグメント別設備投資額



目的別設備投資額



タイ国に油圧機器新工場設立



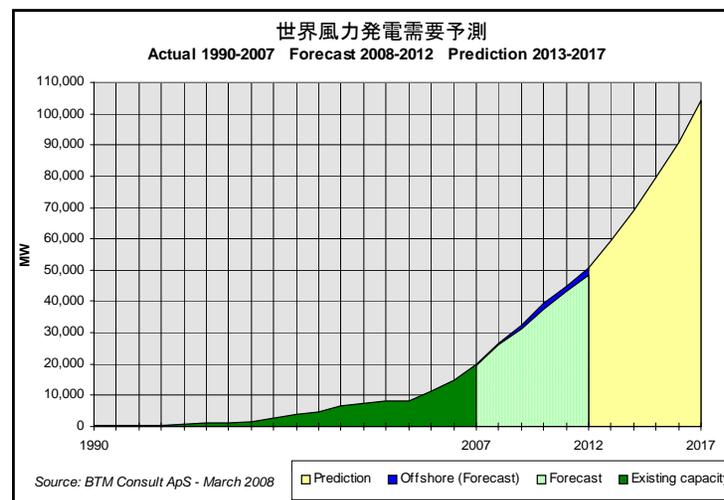
会社名 Nabtesco Power Control (Thailand) Co., Ltd.
所在地 タイ国チョンブリ県アマタナコン工業団地内
設立 2008年2月
資本金 700百万タイバーツ
出資比率 ナブテスコ株式会社 70%
 Komatsu Asia & Pacific Pte Ltd 30%
生産開始予定 2009年1月
生産品目 パワーショベル用走行モーター及び旋回モーター
設備投資額 約35億円(3年累計)



風力発電機用駆動装置専用工場設立



所在地 岐阜県不破郡垂井町 当社垂井工場内
生産開始予定 2009年6月
生産品目 風力発電機用Yaw・Pitch駆動装置
設備投資額 初期投資額 20億円(累計36億円を予定)



(単位:億円)	2008/3	2008/9	差異
資 産	1,633	1,678	44
(現 預 金 等)	301	339	38
(売 上 債 権)	466	465	-1
売上債権回転日数	98	98	0
(棚 卸 資 産)	184	184	0
棚卸資産回転日数	50	50	0
(有 形 固 定 資 産)	433	442	9
負 債	808	819	11
(有 利 子 負 債)	231	227	-3
純 資 産	824	858	33
(少 数 株 主 持 分)	50	56	6

※ 自己資本比率: **47.4%** **47.8%**

	2009年3月期見通し	2009年3月期 《中期経営計画初年度》
売上高	1,740億円	1,780億円
当期純利益	95億円	113億円
ROA	5.7%	6.7%
ROE	11.8%	13.9%
フリーCF	63億円	99億円

Global Challenge 2010

うごかす、とめる。

Nabtesco